

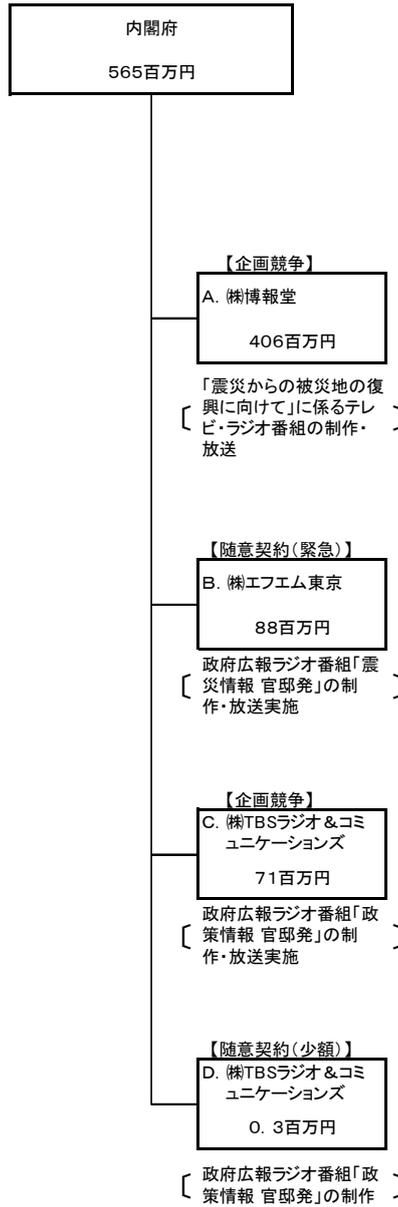
平成24年行政事業レビューシート (復興庁、内閣府)

事業名	放送費		担当部局		復興庁統括官付参事官(予算会計担当) 内閣府大臣官房政府広報室		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室				復興庁参事官 尾関良夫 内閣府大臣官房参事官 平野統三		
会計区分	一般会計、東日本大震災復興特別会計		施策名		3 - 重要施策に関する広報				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	内閣府設置法第4条第3項第38号		関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	被災地の復興に向けて、生活再建や事業再建等、被災者が必要とする情報を提供するため、政府の復興施策等について被災地を中心に広報を実施するものである。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	被災地の復興に向けて、被災者に対し、生活再建、事業再建、雇用対策等、震災からの復旧、復興に必要な情報を適切に提供するため、政府の復興施策等についてラジオ番組やテレビ番組を実施するものである。 なお、平成24年度以降は、復興庁で一括計上し、内閣府で執行する事業である。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
		当初予算	-	-	0	207(復興庁計上)	-		
		補正予算	-	-	297(内閣府計上)	0			
		繰越し等	-	-	0	0			
	計	-	-	297(内閣府計上)	207(復興庁計上)	-			
	執行額	-	-	565					
執行率(%)	-	-	190%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値(24年度)	
	重要施策に関する広報理解度		成果実績				74	80(24年度) 80(23年度)	
			達成度	%			93		
	重要施策に関する広報満足度		成果実績				59	70(24年度) 70(23年度)	
		達成度	%			84			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	テレビ(番組)		活動実績 (当初見込み)	百万円			301 (221)	- (151)	
	ラジオ(番組)		百万円				264 (77)	- (56)	
単位当たりコスト	テレビ(番組)(80万円/1単位)		算出根拠	X=301百万円(テレビ番組(補正経費)の23年度実績額) Y=378回(放送回数)					
	ラジオ(番組)(24万円/1単位)		算出根拠	X=264百万円(ラジオ番組(補正経費)の23年度実績額) Y=1,096回(放送回数)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	(目)啓発広報費	207	-						
	計	207	-						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	政府広報は、政府の重要施策について、広く国民の方々に、その内容、背景、必要性等を知っていただき、それらの施策に対する国民の理解と協力を得ることを目的としている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	事業者の選定に当たっては、創意工夫のできる企画競争を活用し、競争性を確保しつつ調達を行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	創意工夫のできる企画競争を活用し、効果測定も行いながら、各府省庁からの広報希望等を踏まえ、効果的な政府広報の実施に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成24年度予算における放送諸費については、被災者の生活再建、事業再建、雇用対策のほか、被災地の本格的復興に向けて、今後の復興を支援する取組や個別施策を重点に行うこととしているが、契約に当たっては、創意工夫のできる企画競争を活用し、広報効果の確保を図っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業効果の検証を的確に行うべき。		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
執行等改善	今年度の執行状況及び広報効果を踏まえ、予算の効率的な執行に努める。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
政府広報オンラインURL(http://www.gov-online.go.jp/index.html)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	4	平成23年行政事業レビュー	9

※平成23年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単
位:百万円)



(注)四捨五入の関係で、合計等は必ずしも一致しない。

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出さ
 れている者につ
 いて記載する。
 費目と使途の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株博報堂			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
制作費	テレビ・ラジオ番組の制作費	259			
電波料	テレビ・ラジオ番組の放送料金	147			
計		406	計		0
B.株エフエム東京			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電波料	ラジオ番組の放送料金	63			
制作費	ラジオ番組の制作費等	25			
計		88	計		0
C.株TBSラジオ & コミュニケーションズ			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
電波料	ラジオ番組の放送料金	59			
制作費	ラジオ番組の制作費等	12			
計		71	計		0
D.株TBSラジオ & コミュニケーションズ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
制作費	ラジオ番組の制作費等	0.3			
計		0.3	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)博報堂	「震災からの被災地の復興に向けて」	406	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エフエム東京	政府広報ラジオ番組「震災情報 官邸発」の制作・放送実施	88	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)TBSラジオ&コミュニケーションズ	政府広報ラジオ番組「政策情報 官邸発」の制作・放送実施	71	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)TBSラジオ&コミュニケーションズ	政府広報ラジオ番組「政策情報 官邸発」の制作	0.3	随意契約	-